

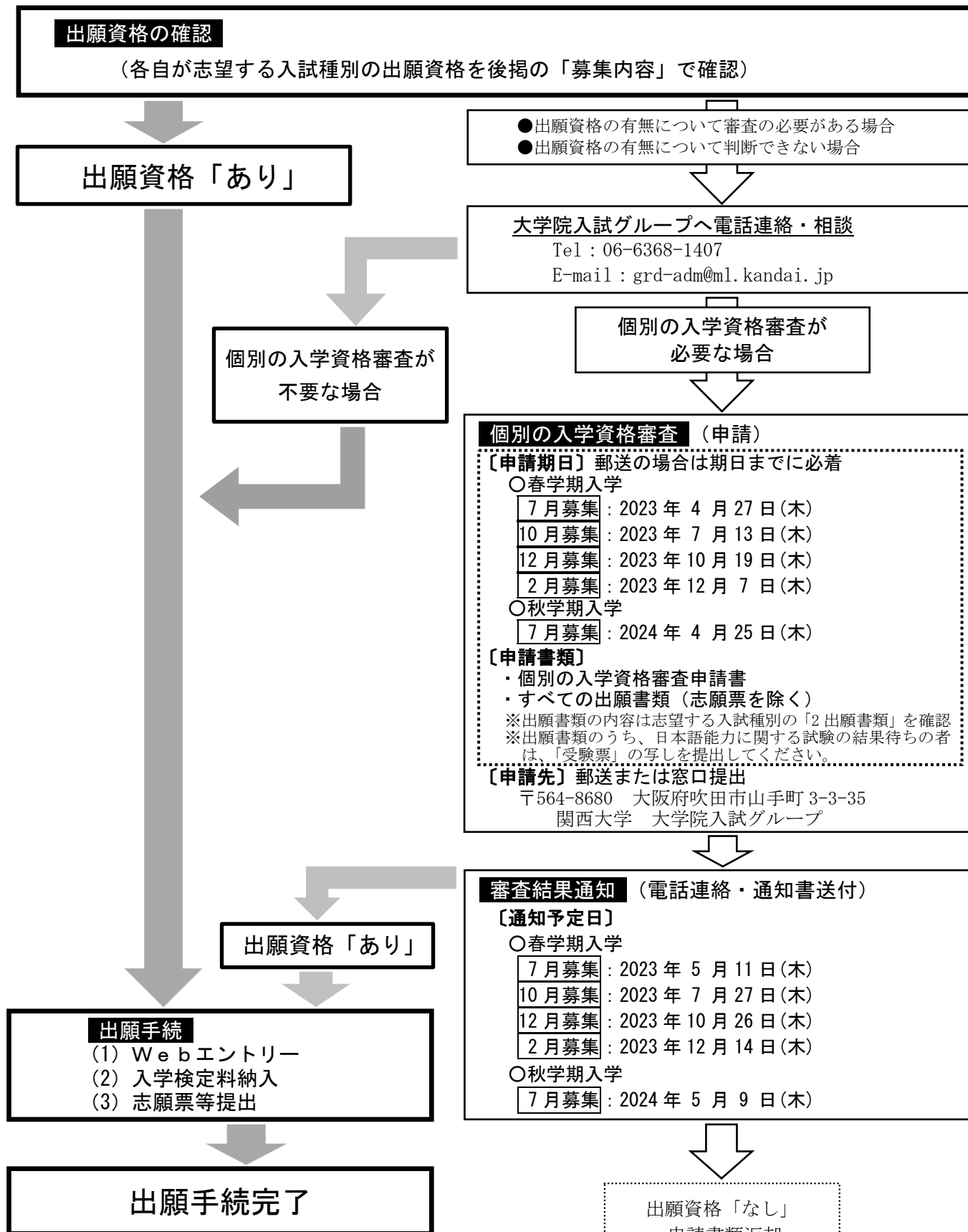
2024 年度

学 生 募 集 要 項

外国語教育学研究科

関西大学大学院

# I 出願前の確認



## 出願資格の再審査について

以下の場合には個別の入学資格の再審査を経ずに出願を認めます。  
ただし、同一研究科への申請かつ、申請者の学歴に変更が生じない場合に限りです。

- (1) 個別の入学資格審査の結果、出願資格を一度認められた者が、同一入学年度内の他の日程に出願する場合
- (2) 外国人研究生として個別の入学資格審査を受け、出願資格を認められた在学生在が、引き続き外国人留学生入学試験を出願する場合

## Ⅱ 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

### 前期課程

外国語教育学研究科では、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力及び主体的な態度を備えた人を博士課程前期課程に求めます。

- 1 高度な外国語の運用能力と異文化理解能力を備え、外国語教育学・異文化コミュニケーション学・通訳翻訳学の各領域において、学士レベルでの知識・技能の基盤を修得している。
- 2 現職外国語教員として、一定の社会人経験を有し、自らの実践を向上するための批判的振り返りや、現場における諸問題の発見・解決を行う意欲を持っている。
- 3 外国語教育学・異文化コミュニケーション学・通訳翻訳学のいずれかの領域を主体的に学んで行く強い意欲を持っている。

### 後期課程

外国語教育学研究科では、学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程編成の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力及び主体的な態度を備えた人を博士課程後期課程に求めます。

- 1 高度な外国語の運用能力と異文化理解能力を備え、外国語教育学において、修士レベルでの知識・技能の基盤を修得し、研究経験や教育現場での実践経験を有している。
- 2 「考動力」を発揮して研究を行い、その成果を広く発信して、国内はもとより国際的に活躍できる。
- 3 自らの研究に主体的に取り組んでいく強い意欲と健全な研究観を有する。

## Ⅲ 2024 年度入学試験日程および各種手続期間一覧

出願手続は、Web エントリー、入学検定料の納入、出願書類の提出により完了します。Web エントリーのみでは出願したものとして取り扱いません。出願に際しては本冊子に記載の内容を十分に確認して手続きしてください。

### 【春学期入学】

| 日 程                                  | 7 月募集   | 10 月募集   | 12 月募集  | 2 月募集  |
|--------------------------------------|---|--|---|--|
| 入学定員                                 | 【外国語教育学専攻】 前期課程：25 名 後期課程：8 名                                 |  |   |  |
| 課 程                                  | 前期課程  | 前期課程<br>後期課程   | 前期課程<br>後期課程  | 前期課程<br>後期課程                                       |
| 入試種別                                 | ■一般入学試験<br>■社会人入学試験   | ■一般入学試験<br>■一般入学試験<br>(アストンDDプログラム)<br>■外国人留学生<br>入学試験<br>■社会人入学試験<br>■現職教員1年制<br>入学試験 | ■一般入学試験<br>■外国人留学生<br>入学試験<br>■社会人入学試験<br>■現職教員1年制<br>入学試験              | ■一般入学試験<br>■外国人留学生<br>入学試験<br>■社会人入学試験<br>■飛び級入学試験 |
| Web エントリー期間<br>入学検定料納入期間<br>出願書類提出期間 | 2023年5月18日(木)<br>～6月1日(木)                                     | 2023年8月18日(金)<br>～9月1日(金)  | 2023年10月27日(金)<br>～11月10日(金)  | 2023年12月22日(金)<br>～2024年1月12日(金)                   |
| 受験票ダウンロード<br>開始日                     | 2023年7月3日(月)  | 2023年10月2日(月)  | 2023年12月4日(月)   | 2024年2月19日(月)                                      |
| 試験日                                  | 2023年7月9日(日)<br>(予備日)2023年7月23日(日)                            | 2023年10月8日(日)<br>(予備日)2023年10月15日(日)   | 2023年12月10日(日)<br>(予備日)2023年12月17日(日)                                   | 2024年2月24日(土)<br>(予備日)2024年2月25日(日)                |
| 合格者発表日                               | 2023年7月14日(金)<br>(予備日)2023年7月28日(金)                           | 2023年10月13日(金)<br>(予備日)2023年10月27日(金)  | 2023年12月15日(金)<br>(予備日)2023年12月22日(金)                                   | 2024年3月1日(金)                                       |
| 入学手続Ⅰ-(1)                            | 2023年7月14日(金)<br>～7月28日(金)<br>(予備日)2023年7月28日(金)<br>～8月21日(月) | 2023年10月13日(金)<br>～10月27日(金)<br>(予備日)2023年10月27日(金)<br>～11月10日(金)                      | 2023年12月15日(金)<br>～2024年1月9日(火)<br>(予備日)2023年12月22日(金)<br>～2024年1月9日(火) | 2024年3月1日(金)<br>～3月15日(金)                          |
| 入学手続Ⅰ-(2)<br>入学手続Ⅱ                   | 2024年2月16日(金)～3月15日(金)  |  |   |  |

※入学学期および入試種別ごとの募集人員は設定していません。

## 【秋学期入学】

|                                      |  |
|--------------------------------------|--|
| 日 程                                  | 7 月募集  |
| 入学定員                                 | 【外国語教育学専攻】 後期課程：8 名  |
| 課 程                                  | 後期課程   |
| 入試種別                                 | ■一般入学試験<br>■社会人入学試験  |
| Web エントリー期間<br>入学検定料納入期間<br>出願書類提出期間 | 2024 年 5 月 16 日(木)～5 月 30 日(木)                                       |
| 受験票ダウンロード<br>開始日                     | 2024 年 7 月 1 日(月)  |
| 試験日                                  | 2024 年 7 月 7 日(日)<br>(予備日)2024 年 7 月 21 日(日)                         |
| 合格者発表日                               | 2024 年 7 月 12 日(金)<br>(予備日)2024 年 7 月 26 日(金)                        |
| 入学手続 I -(1)                          | 2024 年 7 月 12 日(金)～7 月 26 日(金)<br>(予備日)2024 年 7 月 26 日(金)～8 月 9 日(金) |
| 入学手続 I -(2)<br>入学手続 II               | 2024 年 8 月 21 日(水)～9 月 4 日(水)  |

※入学学期および入試種別ごとの募集人員は設定していません。

### 【予備日の設定について】

台風接近による暴風警報発令および交通機関運行停止により試験を延期する場合は、上記のとおり予備日に実施します。その場合は、試験当日 7 時に本大学院入試情報サイトに掲載します。

学内進学試験の学生募集要項は関西大学大学院入試情報サイト ([https://www.kansai-u.ac.jp/Gr\\_sch/](https://www.kansai-u.ac.jp/Gr_sch/))  
で案内しています。

## V 募集内容

## 外国語教育学研究科（博士課程前期課程）

### 募集研究科・専攻および入学定員

| 研究科       | 専攻       | 入学定員 |
|-----------|----------|------|
| 外国語教育学研究科 | 外国語教育学専攻 | 25名  |

注 入試種別ごとの募集人員は設定していません。

# M 一般入学試験（春学期入学：7月募集・10月募集・12月募集・2月募集）

## 1 出願資格

次の(1)～(10)のいずれかの条件を満たす者

（本研究科入学までに、(1)～(8)のいずれかの条件を満たす見込みの者を含む）

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構（旧大学評価・学位授与機構）により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（注1）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（注2）により学士の学位に相当する学位を授与された者（平成28年文部科学省令第19号）
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- (9) 大学院に飛び入学した者であって、本大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認められた者
- (10) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、本研究科入学までに22歳に達する者

注1 教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限り、

注2 当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって上記(5)の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含みます。

### 【重要】個別の入学資格審査に関する注意事項

#### 1. 対象者

出願資格(9)または(10)に該当する志願者

#### 2. 手続方法・申請期日

1 ページの「I 出願前の確認」を参照のうえ、手続きをしてください。

(注1) 修了した課程が16年未満で学士の学位を有する者（見込含む）は出願を認めることがありますので、個別の入学資格審査書類提出期日前のなるべく早い時期に大学院入試グループにお問い合わせください。

(注2) 外国において、日本の大学卒業に相当する学士の学位を授与された者（見込含む）は出願を認めることがありますので、個別の入学資格審査書類提出期日前のなるべく早い時期に大学院入試グループにお問い合わせください。

### 【重要】

本研究科への出願を考える者は、出願書類提出に先立ち、進学相談会への参加を強く推奨します。

## 2 出願書類

入学検定料 35,000 円を納入後、次の書類を一括して提出してください。

提出にあたっては、巻末の「**出願書類に関する注意事項**」をあらかじめ熟読のうえ間違いのないように提出してください。

また、「**出願書類一覧 (チェックリスト)**」も出願書類と併せて提出すること。

| 出願書類【書類番号】           | 備考  |
|----------------------|---|
| 志願票 (提出用) 【①】        | Web エントリー完了後に印刷したものを提出してください。   |
| 志望理由書【②】             | 本学所定の用紙   |
| 出身大学等の成績証明書【③】       | <p><b>成績証明書は原本を提出してください。</b>原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。</p> <p>○現在在学中の場合は、出願時点で最新の成績証明書 (原本) を提出してください。</p> <p>○出身大学に編・転入学した場合は、それ以前の大学等の成績証明書 (原本) も併せて提出してください。</p> <p>○在籍期間中に留学し単位認定が済んでいるものの在籍大学の成績証明書に記載がない場合、または留学後の単位認定が済んでいない場合は、留学先の大学等の成績証明書 (原本) を、併せて提出してください。</p> <p>○在籍期間中に DD (デュアル・ディグリー / ダブル・ディグリー) プログラム等に参加したが、在籍大学の成績証明書に記載がない場合、または一括での単位認定となっている場合は、DD 派遣先の大学等の成績証明書 (原本) を、併せて提出してください。</p> <p>注 1 証明書が複数ページに渡る場合には、すべてのページに学校印又は発行責任者の署名が必要です。</p> <p>注 2 在籍期間中に科目履修を行わなかった場合や、留学等により成績証明書に空白の期間がある場合は、志願者自身で当該期間の理由書 (書式自由) を作成し、併せて提出してください。(学校印等は不要)</p> |
| 出身大学等の卒業 (見込) 証明書【④】 | <p>出願書類③に、卒業 (見込) であることが記載されている場合は、提出不要です。</p> <p><b>卒業 (見込) 証明書は原本を提出してください。</b>原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。</p> <p>【出願資格 (2) による志願者は卒業証明書に代えて次の①または②の書類を、出願資格 (6) による志願者は卒業証明書に加えて次の①の書類を提出してください】</p> <p>①学位を授与された者<br/>学位授与証明書</p> <p>②学位取得見込みの者はアおよびイ<br/>ア 志願者が在籍する短期大学の専攻科または高等専門学校の専攻科の修了見込証明書<br/>イ 志願者が在籍する短期大学または高等専門学校による志願者が学士の学位授与を申請する予定である旨が記載された証明書 (申請を受理された者は、大学改革支援・学位授与機構の学位授与申請受理証明書)</p>   |
| 研究計画書【⑤】             | <p>原本 1 部とその写し 4 部を提出してください。<br/>(A4 用紙 4 ページ以内・横書・日本語もしくは英語)</p> <p>次の (1)～(4) の項目について記述してください。ただし (4) については、自分の研究計画の内容に合わせて、適宜、取舍選択を行ってください。</p> <p>(1) 研究課題名<br/>(2) 氏名<br/>(3) キーワード (注 研究計画の内容を理解するために重要な語句を 3 つ～5 つ程度)<br/>(4) 本文</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・その研究を行うことの当該分野における意義、その研究が必要とされる社会的な理由、その研究の独創性・独自性</li> <li>・当該領域の先行研究の現状・問題点・未解決の課題、それら先行研究の現状・問題点・未解決の課題とその研究の関連など</li> <li>・その研究が用いる理論、フレームワーク、手法などについての説明</li> </ul>   |



|  |   |
|--|---|
|  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・どのような現象を対象として研究を進めるか、どのようなデータをどのような方法で集めるか、対象となる現象に対してどのように分析を進めるか</li> <li>・その研究によりどのような成果が期待されるか</li> <li>・参考文献（APA方式、もしくはその言語／領域で標準的な書式を統一して用いること）</li> </ul> <p>注 本文を章・節に分ける場合は、各章・各節に簡潔な見出しをつけること。</p> |
| <b>外国語筆記試験免除の条件を満たす場合は、そのことを証明する書類の原本およびその写し【⑩】</b><br><b>★該当者のみ</b> | 外国語筆記試験免除の条件（後掲の「5 試験科目および配点」注【外国語試験の免除条件（各言語）】参照）を満たす場合のみ提出してください。<br>外国語資格試験の証明書の場合は原本とその写し1部を提出してください。提出された原本は試験当日に返却します。  |
| <b>在留カードまたはパスポートの写し【⑪】</b><br><b>★日本国以外の国籍を有する者のみ（特別永住者を除く。）</b>     | 在留カードの場合は両面をコピーしてください。<br>パスポートの場合は氏名、生年月日、写真、有効期限、在留資格および最新の在留期間が記載されている部分をコピーしてください。  |
| <b>写真 2枚</b>   | 最近3カ月以内に撮影されたものを志願票（提出用）と志望理由書にそれぞれ貼付してください。なお、修整・加工したものは不可。（志願票に貼付された写真は、入学後交付する「学生証」に使用します。）  |

### 3 選考方法

書類選考、筆記試験および口頭試問の結果を総合して可否を判定します。

なお、筆記試験免除者については、書類選考および口頭試問の結果を総合して可否を判定します。

### 4 試験時間

|                   |         |
|-------------------|---------|
| 筆記試験              | 口頭試問    |
| 外国語               | 筆記試験終了後 |
| 10:00～11:30 (90分) |         |

注 口頭試問の開始時刻および試験場等の詳細は、試験当日に指示します。

なお、「筆記試験」免除者については、受験票にて口頭試問開始時刻を通知します。

### 5 試験科目および配点

筆記試験「外国語」は、志望する「研究対象言語」となります。ただし「研究対象言語」が母語にあたる場合は、研究対象言語以外の言語を、下表から1つ選択してください。

なお、研究領域「通訳翻訳学領域」は、出願時に「研究対象言語」は「その他」を選択することになりますので、筆記試験「外国語」は、次のとおりとします。

- ①日本語が母語の者…「英語」
- ②英語が母語の者…「日本語」
- ③日本語・英語とも母語でない者…「英語」または「日本語」から選択

|             |  |
|-------------|--|
| 筆記試験 (100点) | 口頭試問 (200点)  |
| 外国語         | 次のような点について試問を行います。<br>(1) 専門領域に関する予備知識〈用語集の内容を含む〉<br>(2) 研究に必要な言語の口頭運用能力<br>(3) 出願時に提出した研究計画書について<br>(4) その他関連する事項 |
| 受験外国語       |  |
| 免除          |  |
| 英語          |  |
| 日本語         |  |
| 中国語         |  |
| ドイツ語        |  |
| 朝鮮語         |  |

注 次の「外国語試験の免除条件（各言語）」を満たす場合は、筆記試験を免除とし、口頭試問のみを行います。

## 【外国語試験の免除条件（各言語）】

筆記試験で指定された言語について、以下の条件を満たしている場合は、外国語の筆記試験を免除します。ただし「研究対象言語」が母語にあたる場合は、以下の言語のうち、母語以外の言語が免除対象となります。

| 外国語   | 免除の条件   |
|-------|---|
| 英語    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実用英語検定 準 1 級以上</li> <li>・ IELTS Overall 6.0以上（アカデミックモジュール）スコア</li> <li>・ TOEFL iBT® テスト（My Best™スコアを含む）78 点以上のスコア</li> <li>・ TOEIC® L&amp;R テスト（TOEIC® L&amp;R テスト（IP）を含む）730 点以上のスコア</li> </ul> ※ TOEIC® L&R テストのデジタル公式認定証は認めません。 |
| 日本語   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 免除条件なし</li> </ul>  |
| 中国語   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中国語検定 2 級以上</li> <li>・ 新 HSK 6 級（180 点以上）</li> </ul>   |
| ドイツ語  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ドイツ語技能検定試験 2 級以上</li> <li>・ ゲーテ・ドイツ語検定試験 B1 以上</li> </ul>  |
| 朝鮮語   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ハングル能力検定試験 準 2 級以上</li> <li>・ 韓国語能力試験 4 級以上</li> </ul>   |
| フランス語 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実用フランス語技能検定試験 2 級以上</li> <li>・ DELF B1 以上</li> <li>・ TCF (Test de Connaissance du Français) レベル 3 以上</li> </ul>  |
| スペイン語 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ スペイン語技能検定 2 級以上</li> <li>・ DELE B1 以上</li> </ul>   |
| ロシア語  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ロシア語検定試験（TPKI）第 1 レベル以上</li> </ul>   |

注1 上記に示すテストの公式スコアに有効期限があるものについては、各日程のWebエントリー開始日が有効期間内であることが必要です。

注2 上記以外のテストまたは上記以外の言語の高度な資格で出願する者は、筆記試験免除の審査が必要ですので、事前に問い合わせのうえ、次の期日までに個別の入学資格審査申請書および出願書類（志願票を除くすべての書類）を大学院入試グループへ提出してください。

7月募集：2023年4月27日（木）

10月募集：2023年7月13日（木）

12月募集：2023年10月19日（木）

2月募集：2023年12月7日（木）

# M 一般入学試験（アストンDDプログラム）（春学期入学：10月募集・12月募集）

## 【アストンDDプログラム概要について】

博士課程前期課程 2 年間のうち、1 年次秋学期から 2 年次春学期をアストン大学 (Graduate School of Languages and Social Sciences) に留学し、1 年次春学期および 2 年次秋学期は関西大学大学院外国語教育学研究科において修学、2 年間の両大学の指導により、両大学の修士号を取得できるプログラムです。

なお、修業年限は 2 年になります。

募 集：研究対象言語「英語」、研究領域「外国語教育学」

留学条件：留学前までに IELTS Overall Band Score 6.5 (各パートでの Band Score は最低 6.0) の成績証明書が提出できること。

学 費：アストン大学留学年度は、アストン大学の学費（目安：£13,800）が必要です。その間の関西大学大学院の学費は、認定留学在籍料を適用します。なお、アストン大学からは奨学金（£3,000）が支給される予定です。

修了要件：本研究科において修了に必要な単位は 32 単位です。このうち 10 単位は、アストン大学で修得した科目を本研究科修得単位として認定します。

アストン大学においては、6 科目の修得が求められます。

なお、修士論文は、両大学共同で指導を行い、アストン大学留学中に提出が必要です。

注 意：日本国籍以外の方は、イギリスの留学ビザ申請手続きを改めて行うことになるため、留学ビザが取得できない場合もあります。

留学ビザが取得できずに留学できなくなった場合は、1 年次秋学期から通常の博士課程前期課程 2 年コースに変更されます。

## 1 出 願 資 格

「IELTS Overall Band Score 6.0 以上」の成績証明書(有効期間内)を提出できる者で、次の(1)~(10)のいずれかの条件を満たす者

(本研究科入学までに、(1)~(8)のいずれかの条件を満たす見込みの者を含む)

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構（旧大学評価・学位授与機構）により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（注 1）において、修業年限が 3 年以上である課程を修了すること（注 2）により学士の学位に相当する学位を授与された者（平成 28 年文部科学省令第 19 号）
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和 28 年文部省告示第 5 号）
- (9) 大学院に飛び入学した者であって、本大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認められた者
- (10) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、本研究科入学までに 22 歳に達する者

注 1 教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限ります。

注 2 当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって上記(5)の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含みます。

**【重要】個別の入学資格審査に関する注意事項**

1. 対象者

出願資格(9)または(10)に該当する志願者

2. 手続方法・申請期日

1 ページの「I 出願前の確認」を参照のうえ、手続きをしてください。

(注1) 修了した課程が 16 年未満で学士の学位を有する者(見込含む)は出願を認めることがありますので、個別の入学資格審査書類提出期日前のなるべく早い時期に大学院入試グループにお問い合わせください。

(注2) 外国において、日本の大学卒業に相当する学士の学位を授与された者(見込含む)は出願を認めることがありますので、個別の入学資格審査書類提出期日前のなるべく早い時期に大学院入試グループにお問い合わせください。

**【重要】**

本研究科への出願を考える者は、出願書類提出に先立ち、進学相談会への参加を強く推奨します。

**2 出 願 書 類**

入学検定料 35,000 円を納入後、次の書類を一括して提出してください。

提出にあたっては、巻末の「**出願書類に関する注意事項**」をあらかじめ熟読のうえ間違いのないように提出してください。

また、「出願書類一覧(チェックリスト)」も出願書類と併せて提出すること。

| 出願書類【書類番号】         | 備 考   |
|--------------------|---|
| 志願票(提出用)【①】        | Webエントリー完了後に印刷したものを提出してください。  |
| 英語による志望理由書【②】      | 本学所定の用紙   |
| 出身大学等の成績証明書【③】     | <p><b>成績証明書は原本を提出してください。</b>原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。</p> <p>○現在在学中の場合は、出願時点で最新の成績証明書(原本)を提出してください。</p> <p>○出身大学に編・転入学した場合は、それ以前の大学等の成績証明書(原本)も併せて提出してください。</p> <p>○在籍期間中に留学し単位認定が済んでいるものの在籍大学の成績証明書に記載がない場合、または留学後の単位認定が済んでいない場合は、留学先の大学等の成績証明書(原本)を、併せて提出してください。</p> <p>○在籍期間中にDD(デュアル・ディグリー / ダブル・ディグリー)プログラム等に参加したが、在籍大学の成績証明書に記載がない場合、または一括での単位認定となっている場合は、DD派遣先の大学等の成績証明書(原本)を、併せて提出してください。</p> <p>注1 証明書が複数ページに渡る場合には、すべてのページに学校印又は発行責任者の署名が必要です。</p> <p>注2 在籍期間中に科目履修を行わなかった場合や、留学等により成績証明書に空白の期間がある場合は、志願者自身で当該期間の理由書(書式自由)を作成し、併せて提出してください。(学校印等は不要)</p> |
| 出身大学等の卒業(見込)証明書【④】 | <p>出願書類③に、卒業(見込)であることが記載されている場合は、提出不要です。</p> <p><b>卒業(見込)証明書は原本を提出してください。</b>原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。</p> <p><b>【出願資格(2)による志願者は卒業証明書に代えて次の①または②の書類を、出願資格(6)による志願者は卒業証明書に加えて次の①の書類を提出してください】</b></p> <p>①学位を授与された者<br/>学位授与証明書</p> <p>②学位取得見込みの者はアおよびイ<br/>ア 志願者が在籍する短期大学の専攻科または高等専門学校の専攻科の修了見込証明書</p>   |

|  |  |
|--|--|
|  | イ 志願者が在籍する短期大学または高等専門学校による志願者が学士の学位授与を申請する予定である旨が記載された証明書（申請を受理された者は、大学改革支援・学位授与機構の学位授与申請受理証明書）  |
| 英語による研究計画書【⑤】  | <p>原本1部とその写し4部を提出してください。<br/> (A4用紙4ページ以内・横書)</p> <p>次の(1)～(4)の項目について記述してください。ただし(4)については、自分の研究計画の内容に合わせて、適宜、取捨選択を行ってください。</p> <p>(1)研究課題名<br/> (2)氏名<br/> (3)キーワード（注 研究計画の内容を理解するために重要な語句を3つ～5つ程度）<br/> (4)本文</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・その研究を行うことの当該分野における意義、その研究が必要とされる社会的な理由、その研究の独創性・独自性</li> <li>・当該領域の先行研究の現状・問題点・未解決の課題、それら先行研究の現状・問題点・未解決の課題とその研究の関連など</li> <li>・その研究が用いる理論、フレームワーク、手法などについての説明</li> <li>・どのような現象を対象として研究を進めるか、どのようなデータをどのような方法で集めるか、対象となる現象に対してどのように分析を進めるか、集めたデータに対してどのように分析を進めるか</li> <li>・その研究によりどのような成果が期待されるか</li> <li>・参考文献（APA方式、もしくはその言語／領域で標準的な書式を統一して用いること）</li> </ul> <p>注 本文を章・節に分ける場合は、各章・各節に簡潔な見出しをつけること。</p> |
| 「IELTS」の公式成績証明書の原本およびその写し【⑮】                           | Overall Band Score 6.0以上であること。<br>提出された原本は試験当日に返却します。  |
| 在留カードまたはパスポートの写し【⑯】<br>★日本国以外の国籍を有する者のみ<br>(特別永住者を除く。) | 在留カードの場合は両面をコピーしてください。<br>パスポートの場合は氏名、生年月日、写真、有効期限、在留資格および最新の在留期間が記載されている部分をコピーしてください。   |
| 写真 2枚  | 最近3カ月以内に撮影されたものを志願票（提出用）と志望理由書にそれぞれ貼付してください。なお、修整・加工したものは不可。<br>(志願票に貼付された写真は、入学後交付する「学生証」に使用します。)   |

### 3 選考方法

書類選考および口頭試問の結果を総合して合否を判定します。

### 4 試験時間

| 筆記試験  | 口頭試問                           |
|-------|--------------------------------|
| 行いません | 60分程度<br>口頭試問の開始時刻は受験票にて通知します。 |

### 5 試験科目および配点

| 筆記試験  | 口頭試問(200点)  |
|-------|---|
| 行いません | <p>次のような点について試問を行います。</p> <p>(1)専門領域に関する予備知識〈用語集の内容を含む〉<br/> (2)研究に必要な言語の口頭運用能力<br/> (3)出願時に提出した研究計画書について<br/> (4)本プログラムの適性<br/> (5)その他関連する事項</p> |

# M 外国人留学生入学試験（春学期入学：10月募集・12月募集・2月募集）

## 1 出願資格

次の(1)～(5)のいずれかの条件を満たす者

(本研究科入学までに、(1)～(4)のいずれかの条件を満たす見込みの者を含む)

- (1) 外国において通常の課程による16年の学校教育を修了した者（注1）
- (2) 日本において外国人留学生として大学を卒業した者
- (3) 外国の大学その他の外国の学校（注2）において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより学士の学位に相当する学位を授与された者（平成28年文部科学省令第19号）
- (4) 日本において外国人留学生として専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (5) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者。ただし、日本において通常の課程による学校教育を受けたと認定した外国人を除く。

注1 以下の学校に在籍した者は、その期間が通算4年以内である場合に限り、出願資格(1)と同様とみなす。

- ・日本の学校教育法に基づく小学校・中学校・高等学校等
- ・日本にある外国人学校
- ・文部科学大臣が認定又は指定した在外教育施設

注2 教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限ります。

### 【重要】個別の入学資格審査に関する注意事項

#### 1. 対象者

出願資格(5)に該当する志願者

#### 2. 手続方法・申請期日

1ページの「I 出願前の確認」を参照のうえ、手続きをしてください。

(注1) 修了した課程が16年未満で学士の学位を有する者（見込含む）は出願を認めることがありますので、個別の入学資格審査書類提出期日前のなるべく早い時期に大学院入試グループにお問い合わせください。

(注2) 外国において、日本の大学卒業に相当する学士の学位を授与された者（見込含む）は出願を認めることがありますので、個別の入学資格審査書類提出期日前のなるべく早い時期に大学院入試グループにお問い合わせください。

### 【重要】

本研究科への出願を考える者は、出願書類提出に先立ち、進学相談会への参加を強く推奨します。

## 2 出願書類

入学検定料35,000円を納入後、次の書類を一括して提出してください。

提出にあたっては、巻末の「**出願書類に関する注意事項**」をあらかじめ熟読のうえ間違いのないように提出してください。

また、「出願書類一覧（チェックリスト）」も出願書類と併せて提出すること。

| 出願書類【書類番号】     | 備考                           |
|----------------|------------------------------|
| 志願票（提出用）【①】    | Webエントリー完了後に印刷したものを提出してください。 |
| 日本語による志望理由書【②】 | 本学所定の用紙                      |

|                            |  |
|----------------------------|--|
| <p>出身大学等の成績証明書【③】</p>      | <p>成績証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。</p> <p>○現在在学中の場合は、出願時点で最新の成績証明書（原本）を提出してください。</p> <p>○出身大学に編・転入学した場合は、それ以前の大学等の成績証明書（原本）も併せて提出してください。</p> <p>○在籍期間中に留学し単位認定が済んでいるものの在籍大学の成績証明書に記載がない場合、または留学後の単位認定が済んでいない場合は、留学先の大学等の成績証明書（原本）を、併せて提出してください。</p> <p>○在籍期間中にDD（デュアル・ディグリー / ダブル・ディグリー）プログラム等に参加したが、在籍大学の成績証明書に記載がない場合、または一括での単位認定となっている場合は、DD派遣先の大学等の成績証明書（原本）を、併せて提出してください。</p> <p>注1 証明書が複数ページに渡る場合には、すべてのページに学校印又は発行責任者の署名が必要です。</p> <p>注2 在籍期間中に科目履修を行わなかった場合や、留学等により成績証明書に空白の期間がある場合は、志願者自身で当該期間の理由書（書式自由）を作成し、併せて提出してください。（学校印等は不要）</p>   |
| <p>出身大学等の卒業（見込）証明書【④】</p>  | <p>卒業（見込）であること、入学年月および卒業（見込）年月が記載されていること。</p> <p>ただし、出願書類③に上記内容が記載されている場合は、提出不要です。</p> <p>卒業（見込）証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。</p> <p>注 出願資格(3)による志願者は、卒業証明書に加えて学位授与証明書を提出してください。</p>  |
| <p>日本語による研究計画書【⑤】</p>      | <p>原本1部とその写し4部を提出してください。<br/>（A4用紙4ページ以内・横書）</p> <p>次の(1)～(4)の項目について記述してください。ただし(4)については、自分の研究計画の内容に合わせて、適宜、取舍選択を行ってください。</p> <p>(1)研究課題名<br/>(2)氏名<br/>(3)キーワード（注 研究計画の内容を理解するために重要な語句を3つ～5つ程度）<br/>(4)本文</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・その研究を行うことの当該分野における意義、その研究が必要とされる社会的な理由、その研究の独創性・独自性</li> <li>・当該領域の先行研究の現状・問題点・未解決の課題、それら先行研究の現状・問題点・未解決の課題とその研究の関連など</li> <li>・その研究が用いる理論、フレームワーク、手法などについての説明</li> <li>・どのような現象を対象として研究を進めるか、どのようなデータをどのような方法で集めるか、対象となる現象に対してどのように分析を進めるか、集めたデータに対してどのように分析を進めるか</li> <li>・その研究によりどのような成果が期待されるか</li> <li>・参考文献（APA方式、もしくはその言語／領域で標準的な書式を統一して用いること）</li> </ul> <p>注 本文を章・節に分ける場合は、各章・各節に簡潔な見出しをつけること。</p> |
| <p>在留カードまたはパスポートの写し【⑥】</p> | <p>在留カードの場合は両面をコピーしてください。</p> <p>パスポートの場合は氏名、生年月日、写真、有効期限、在留資格、および最新の在留期間が記載されている部分をコピーしてください。</p>   |
| <p>写真 2枚</p>               | <p>最近3カ月以内に撮影されたものを志願票（提出用）と志望理由書にそれぞれ貼付してください。なお、修整・加工したものは不可。（志願票に貼付された写真は、入学後交付する「学生証」に使用します。）</p>  |

### 3 選考方法

書類選考、筆記試験および口頭試問の結果を総合して合否を判定します。

### 4 試験時間

|                   |         |
|-------------------|---------|
| 筆記試験              | 口頭試問    |
| 外国語               | 筆記試験終了後 |
| 10:00~11:30 (90分) |         |

注 口頭試問の開始時刻および試験場等の詳細は、試験当日に指示します。

### 5 試験科目および配点

|             |   |
|-------------|---|
| 筆記試験 (100点) | 口頭試問 (200点)   |
| 外国語         | 次のような点について試問を行います。<br>(1) 専門領域に関する予備知識 <用語集の内容を含む><br>(2) 研究に必要な言語の口頭運用能力<br>(3) 出願時に提出した研究計画書について<br>(4) その他関連する事項 |
| 日本語         |   |



# M 社会人入学試験（春学期入学：7月募集・10月募集・12月募集・2月募集）

## 1 出願資格

次の(1)および(2)に該当する者

(1) 次のア～ケのいずれかに該当する者

- ア 大学を卒業した者
- イ 大学改革支援・学位授与機構（旧大学評価・学位授与機構）により学士の学位を授与された者
- ウ 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- エ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- オ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- カ 外国の大学その他の外国の学校（注1）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（注2）により学士の学位に相当する学位を授与された者（平成28年文部科学省令第19号）
- キ 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- ク 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- ケ 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、本研究科入学までに22歳に達する者

注1 教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限り、

注2 当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって上記オの指定を受けたものにおいて課程を修了することを含みます。

(2) 次のアまたはイのいずれかに該当する者

- ア 出願時において、(1)の要件を満たした後、日本国内外を問わず、同一の企業、官公庁、教育・研究機関等において、引き続き1年以上勤務している者またはその経験を有する者
- イ 本大学院において、個別の入学資格審査により、アに準ずる職歴を有すると認められた者

### 【重要】個別の入学資格審査に関する注意事項

#### 1. 対象者

出願資格(1)-ケまたは(2)-イに該当する志願者

#### 2. 手続方法・申請期日

1ページの「I 出願前の確認」を参照のうえ、手続きをしてください。

(注1) 修了した課程が16年未満で学士の学位を有する者は出願を認めることがありますので、個別の入学資格審査書類提出期日前のなるべく早い時期に大学院入試グループにお問い合わせください。

(注2) 外国において、日本の大学卒業に相当する学士の学位を授与された者は出願を認めることがありますので、個別の入学資格審査書類提出期日前のなるべく早い時期に大学院入試グループにお問い合わせください。

### 【重要】

本研究科への出願を考える者は、出願書類提出に先立ち、進学相談会への参加を強く推奨します。

## 2 出願書類

入学検定料 35,000 円を納入後、次の書類を一括して提出してください。

提出にあたっては、巻末の「**出願書類に関する注意事項**」をあらかじめ熟読のうえ間違いのないように提出してください。

また、「**出願書類一覧 (チェックリスト)**」も出願書類と併せて提出すること。

| 出願書類【書類番号】     | 備考  |
|----------------|---|
| 志願票 (提出用) 【①】  | Web エントリー完了後に印刷したものを提出してください。   |
| 志望理由書【②】       | 本学所定の用紙   |
| 出身大学等の成績証明書【③】 | <p><b>成績証明書は原本を提出してください。</b>原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。</p> <p>○出身大学に編・転入学した場合は、それ以前の大学等の成績証明書 (原本) も併せて提出してください。</p> <p>○在籍期間中に留学し単位認定が済んでいるものの在籍大学の成績証明書に記載がない場合は、留学先の大学等の成績証明書 (原本) を、併せて提出してください。</p> <p>○在籍期間中に DD (デュアル・ディグリー / ダブル・ディグリー) プログラム等に参加したが、在籍大学の成績証明書に記載がない場合、または一括での単位認定となっている場合は、DD 派遣先の大学等の成績証明書 (原本) を、併せて提出してください。</p> <p>注 1 証明書が複数ページに渡る場合には、すべてのページに学校印又は発行責任者の署名が必要です。</p> <p>注 2 在籍期間中に科目履修を行わなかった場合や、留学等により成績証明書に空白の期間がある場合は、志願者自身で当該期間の理由書 (書式自由) を作成し、併せて提出してください。(学校印等は不要)</p>  |
| 出身大学等の卒業証明書【④】 | <p>出願書類③に、卒業 (見込) であることが記載されている場合は、提出不要です。</p> <p><b>卒業 (見込) 証明書は原本を提出してください。</b>原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。</p> <p>注 出願資格 (1)-イによる志願者は、卒業証明書に代えて学位授与証明書を提出してください。</p> <p>また出願資格 (1)-カによる志願者は、卒業証明書に加えて学位授与証明書を提出してください。</p>   |
| 研究計画書【⑤】       | <p>原本 1 部とその写し 4 部を提出してください。</p> <p>(A4 用紙 4 ページ以内・横書・日本語もしくは英語)</p> <p>次の (1)～(4) の項目について記述してください。ただし (4) については、自分の研究計画の内容に合わせて、適宜、取捨選択を行ってください。</p> <p>(1) 研究課題名</p> <p>(2) 氏名</p> <p>(3) キーワード (注 研究計画の内容を理解するために重要な語句を 3 つ～5 つ程度)</p> <p>(4) 本文</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ その研究を行うことの当該分野における意義、その研究が必要とされる社会的な理由、その研究の独創性・独自性</li> <li>・ 当該領域の先行研究の現状・問題点・未解決の課題、それら先行研究の現状・問題点・未解決の課題とその研究の関連など</li> <li>・ その研究が用いる理論、フレームワーク、手法などについての説明</li> <li>・ どのような現象を対象として研究を進めるか、どのようなデータをどのような方法で集めるか、対象となる現象に対してどのように分析を進めるか、集めたデータに対してどのように分析を進めるか</li> <li>・ その研究によりどのような成果が期待されるか</li> <li>・ 参考文献 (APA 方式、もしくはその言語/領域で標準的な書式を統一して用いること)</li> </ul> <p>注 本文を章・節に分ける場合は、各章・各節に簡潔な見出しをつけること。</p> |

|  |   |
|--|---|
| 外国語筆記試験免除の条件を満たす場合は、そのことを証明する書類の原本およびその写し【⑩】<br>★該当者のみ | 外国語筆記試験免除の条件（後掲の「5 試験科目および配点」注【外国語試験の免除条件（各言語）】参照）を満たす場合のみ提出してください。<br>「研究対象言語に関する教育経験」の条件により免除を希望する者は、職歴、在職期間および担当科目がわかる証明書（在職証明書等）を提出してください。<br>外国語資格試験の証明書の場合は原本とその写し1部を提出してください。提出された原本は試験当日に返却します。 |
| 在留カードまたはパスポートの写し【⑪】<br>★日本国以外の国籍を有する者のみ（特別永住者を除く。）     | 在留カードの場合は両面をコピーしてください。<br>パスポートの場合は氏名、生年月日、写真、有効期限、在留資格および最新の在留期間が記載されている部分をコピーしてください。  |
| 写真 2枚  | 最近3カ月以内に撮影されたものを志願票（提出用）と志望理由書にそれぞれ貼付してください。なお、修整・加工したものは不可。<br>（志願票に貼付された写真は、入学後交付する「学生証」に使用します。）  |

### 3 選考方法

書類選考、筆記試験および口頭試問の結果を総合して合否を判定します。

なお、筆記試験免除者については、書類選考および口頭試問の結果を総合して合否を判定します。

### 4 試験時間

|                   |         |
|-------------------|---------|
| 筆記試験              | 口頭試問    |
| 外国語               | 筆記試験終了後 |
| 10:00～11:30 (90分) |         |

注1 口頭試問実施時間の希望の申し出には一切応じません。

注2 口頭試問の開始時刻および試験場等の詳細は、試験当日に指示します。

なお、「筆記試験」免除者については、受験票にて口頭試問開始時刻を通知します。

### 5 試験科目および配点

筆記試験「外国語」は、志望する「研究対象言語」となります。ただし「研究対象言語」が母語にあたる場合は、研究対象言語以外の言語を、下表から1つ選択してください。

なお、研究領域「通訳翻訳学領域」は、出願時に「研究対象言語」は「その他」を選択することになりますので、筆記試験「外国語」は、次のとおりとします。

- ①日本語が母語の者…「英語」
- ②英語が母語の者…「日本語」
- ③日本語・英語とも母語でない者…「英語」または「日本語」から選択

|             |  |
|-------------|--|
| 筆記試験 (100点) | 口頭試問 (200点)  |
| 外国語         | 次のような点について試問を行います。<br><br>(1) 社会での経験について<br>(2) 専門領域に関する予備知識〈用語集の内容を含む〉<br>(3) 研究に必要な言語の口頭運用能力<br>(4) 出願時に提出した研究計画書について<br>(5) その他関連する事項 |
| 受験外国語       |  |
| 免除          |  |
| 英語          |  |
| 日本語         |  |
| 中国語         |  |
| ドイツ語        |  |
| 朝鮮語         |  |

注 次の「外国語試験の免除条件（各言語）」を満たす場合は、筆記試験を免除とし、口頭試問のみを行います。

## 【外国語試験の免除条件（各言語）】

以下の1または2のいずれかの条件を満たしている場合は、外国語の筆記試験を免除します。

### 1 外国語資格試験

筆記試験で指定された言語について、以下の条件を満たしている場合は、外国語の筆記試験を免除します。ただし「研究対象言語」が母語にあたる場合は、母語以外の言語における資格をもって免除とします。

| 外国語   | 免除の条件   |
|-------|---|
| 英語    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実用英語検定 準1級以上</li> <li>・ IELTS Overall 6.0以上（アカデミックモジュール）スコア</li> <li>・ TOEFL iBT® テスト（My Best™スコアを含む）78点以上のスコア</li> <li>・ TOEIC® L&amp;R テスト（TOEIC® L&amp;R テスト（IP）を含む）730点以上のスコア</li> </ul> ※ TOEIC® L&R テストのデジタル公式認定証は認めません。 |
| 日本語   | ・ 免除条件なし  |
| 中国語   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中国語検定 2級以上</li> <li>・ 新 HSK 6 級（180 点以上）</li> </ul>  |
| ドイツ語  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ドイツ語技能検定試験 2 級以上</li> <li>・ ゲーテ・ドイツ語検定試験 B1 以上</li> </ul>  |
| 朝鮮語   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ハングル能力検定試験 準 2 級以上</li> <li>・ 韓国語能力試験 4 級以上</li> </ul>   |
| フランス語 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実用フランス語技能検定試験 2 級以上</li> <li>・ DELF B1 以上</li> <li>・ TCF (Test de Connaissance du Français) レベル 3 以上</li> </ul>  |
| スペイン語 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ スペイン語技能検定 2 級以上</li> <li>・ DELE B1 以上</li> </ul>   |
| ロシア語  | ・ ロシア語検定試験（TPKI）第1レベル以上   |

### 2 研究対象言語に関する教育経験

各日程の Web エントリー開始日時点で、日本国内の小学校・中学校・高等学校・高等専門学校・専門学校・短大・大学・大学院等において、専任教員（専任に準ずる場合も含む）または常勤講師としての勤務歴（大学卒業後）が継続して2年以上ある者。かつ「研究対象言語」を担当科目としていること。なお、「研究対象言語」が母語であっても可とする。

| 提出書類                                |
|-------------------------------------|
| ①在職証明書または在職経験証明書                    |
| ②教員免許状（写し）<br>※お持ちの方は全てご提出ください。     |
| ③勤務校からの担当科目証明書<br>※提出可能な方は、ご提出ください。 |

- 注1 上記「2」の「②教員免許状（写し）」をお持ちでない場合も出願は可能ですが、その場合は、必ず「③勤務校からの担当科目証明書」を提出してください。
- 注2 上記「1」に示すテストの公式スコアに有効期限があるものについては、各日程のWebエントリー開始日が有効期間内であることが必要です。
- 注3 上記「1」に示す以外のテスト、または上記「1」に示す以外の言語の高度な資格、もしくは「2」に準ずる日本国内における職歴で出願する者は、筆記試験免除の審査が必要ですので、事前に問い合わせのうえ、次の期日までに個別の入学資格審査申請書および出願書類（志願票を除くすべての書類）を大学院入試グループへ提出してください。

7月募集：2023年4月27日（木）

10月募集：2023年7月13日（木）

12月募集：2023年10月19日（木）

2月募集：2023年12月7日（木）

# M 飛び級入学試験（春学期入学：2月募集）

## 1 出願資格

次の(1)～(4)のすべての条件を満たす者

- (1) 大学の3年次に在学している者  
ただし、休学期間は在学期間に含まないものとする。
- (2) 受験年度の3月末において、卒業所要単位の修得単位数が100単位以上である者または修得単位数が100単位以上になる見込みである者
- (3) 出願時までの全ての修得科目の成績が、「優」以上あるいはそれに相当する評定が75%以上である者
- (4) 研究対象言語の運用能力の優秀さを示す資格やスコア、受賞経験、留学経験等を提示することができる者

### 【重要】

本研究科への出願を考える者は、出願書類提出に先立ち、進学相談会への参加を強く推奨します。

## 2 出願書類

入学検定料 35,000 円を納入後、次の書類を一括して提出してください。

提出にあたっては、巻末の「**出願書類に関する注意事項**」をあらかじめ熟読のうえ間違いのないように提出してください。

また、「出願書類一覧（チェックリスト）」も出願書類と併せて提出すること。

| 出願書類【書類番号】    | 備 考  |
|---------------|--|
| 志願票（提出用）【①】   | Web エントリー完了後に印刷したものを提出してください。  |
| 志望理由書【②】      | 本学所定の用紙  |
| 在学大学の成績証明書【③】 | 成績証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。在学出身大学に編・転入学した場合は、それ以前の大学等の成績証明書も併せて提出してください。  |
| 在学証明書【④】      | 休学期間のある者は、その期間を明記したものを提出してください。  |
| 研究計画書【⑤】      | <p>原本1部とその写し4部を提出してください。<br/>                     (A4用紙4ページ以内・横書・日本語もしくは英語)<br/>                     次の(1)～(4)の項目について記述してください。ただし(4)については、自分の研究計画の内容に合わせて、適宜、取舍選択を行ってください。</p> <p>(1)研究課題名<br/>                     (2)氏名<br/>                     (3)キーワード（注 研究計画の内容を理解するために重要な語句を3つ～5つ程度）<br/>                     (4)本文</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・その研究を行うことの当該分野における意義、その研究が必要とされる社会的な理由、その研究の独創性・独自性</li> <li>・当該領域の先行研究の現状・問題点・未解決の課題、それら先行研究の現状・問題点・未解決の課題とその研究の関連など</li> <li>・その研究が用いる理論、フレームワーク、手法などについての説明</li> <li>・どのような現象を対象として研究を進めるか、どのようなデータをどのような方法で集めるか、対象となる現象に対してどのように分析を進めるか、集めたデータに対してどのように分析を進めるか</li> <li>・その研究によりどのような成果が期待されるか</li> <li>・参考文献（APA方式、もしくはその言語／領域で標準的な書式を統一して用いること）</li> </ul> <p>注 本文を章・節に分ける場合は、各章・各節に簡潔な見出しをつけること。</p> |

|  |  |
|--|--|
| 研究対象言語運用能力の優秀さ[出願資格(4)]を証明する書類の原本およびその概要【⑫】        | 原本とその写し1部を提出してください。提出された原本は、試験当日に返却します。<br>概要は、パソコン等で、A4用紙(横書き 40字×40行)を使用し作成してください。               |
| 修得単位数が100単位以上になることを証明する書類(履修証明書、履修届の写し等)【⑭】        | 出願時に卒業所要単位の修得単位数が100単位を超えていない者のみ提出してください。  |
| 在留カードまたはパスポートの写し【⑯】<br>★日本国以外の国籍を有する者のみ(特別永住者を除く。) | 在留カードの場合は両面をコピーしてください。<br>パスポートの場合は氏名、生年月日、写真、有効期限、在留資格および最新の在留期間が記載されている部分をコピーしてください。             |
| 写真 2枚  | 最近3カ月以内に撮影されたものを志願票(提出用)と志望理由書にそれぞれ貼付してください。なお、修整・加工したものは不可。<br>(志願票に貼付された写真は、入学後交付する「学生証」に使用します。) |

### 3 選考方法

書類選考および口頭試問の結果を総合して合否を判定します。

### 4 試験時間

| 筆記試験  | 口頭試問                  |
|-------|-----------------------|
| 行いません | 口頭試問の開始時刻は受験票にて通知します。 |

### 5 試験科目および配点

| 筆記試験  | 口頭試問(200点)   |
|-------|--|
| 行いません | 次のような点について試問を行います。<br>(1) 専門領域に関する予備知識〈用語集の内容を含む〉<br>(2) 研究に必要な言語の口頭運用能力<br>(3) 出願時に提出した研究計画書について<br>(4) その他関連する事項 |

### 6 特記事項

本制度により入学した者は、学部を3年次で退学することになり、学士の学位は授与されません。

# M 現職教員 1 年制入学試験（春学期入学：10 月募集・12 月募集）

（現職英語教員または経験者対象）

## 1 概要

現在、多様化する時代の中で教育改革が求められ、新しく挑戦すべき課題が数多くあります。このような現実の中で、教員としてのさらなる成長を求めている方も多いと思います。

外国語教育学研究科博士課程前期課程では、高度な能力を有する英語教員を養成することを目的とし、現職の英語教員やその経験者で、英語教育に関わる業績（授業や著書も含む。）が顕著な方を対象に、現職教員 1 年制コースを 2007 年度から開設しています。

このコースにおいて、所定の単位を修得し、かつ最終試験に合格すれば 1 年間で修士号および専修免許状を取得できますので、国公立の学校の教員で、2001 年より文部科学省が推奨しています大学院修学休業制度を利用される方も、修学後、職場に復帰しやすくなっています。

なお、研究の対象とできる言語は「英語」に限ります。

## 2 カリキュラム

これまで修業年限を 2 年以上とする者に対して行ってきました教育研究指導と同等のものを 1 年間で提供するため、1 年制コースの方のみとしたカリキュラムを開講します。概要は次のとおりです。

- (1) 修了に必要な修得単位は、指導教員の担当する演習科目 4 単位を含め、30 単位以上です。
- (2) 授業科目の一覧は、外国語教育学研究科ウェブサイトをご覧ください。なお、授業科目および担任者については、変更することがあります。
- (3) 1 年制コース配当の講義科目「インディペンデントスタディ 1～7」（各半期 2 単位 計 14 単位）を開講します。
  - ・英語教育における課題や問題解決のための研究およびその試行や実証を目的とした科目です。
  - ・当該科目の担任者は、受講者の研究内容や英語教育における課題や問題の内容に基づき決定します。
  - ・授業形態は、曜日・時限を設定した「授業」を基本としますが、教育現場での試行や実証、およびその結果のレポートとその指導をもって授業時間に代えることもあります（電子メール等を利用した教育研究指導も含む）。

## 3 修業年限

修業年限は 1 年間です。この期間に所定の単位を修得し、最終試験に合格すれば修士（外国語教育学）の学位を取得することができます。なお、最長で 2 年間在学することができます。

## 4 専修免許状

外国語(英語)の中学校・高等学校一種免許状を有し、所定の 24 単位を修得した場合は、修了と同時に同教科の専修免許状を取得できます。

## 1 出願資格

次の(1)および(2)に該当する者

(1) 次のアまたはイのいずれかに該当する者

ア 「学校教育法第1条に定める学校の専任教員(外国籍者の常勤講師を含む。)」あるいは「教育委員会の指導主事」のいずれかの職に在職経験を有する者

イ 本大学院において、個別の入学資格審査により、アに準ずる職歴を有すると認められた者

(2) (1)の在職期間において英語教育に関わる業績(授業や著書も含む)が顕著であることを示すことができる者

### 【重要】個別の入学資格審査に関する注意事項

#### 1. 対象者

出願資格(1)-イに該当する志願者

#### 2. 手続方法・申請期日

1ページの「I 出願前の確認」を参照のうえ、手続きをしてください。

### 【重要】

本研究科への出願を考える者は、出願書類提出に先立ち、進学相談会への参加を強く推奨します。

## 2 出願書類

入学検定料 35,000 円を納入後、次の書類を一括して提出してください。

提出にあたっては、巻末の「**出願書類に関する注意事項**」をあらかじめ熟読のうえ間違いのないように提出してください。

また、「**出願書類一覧(チェックリスト)**」も**出願書類と併せて提出すること。**

| 出願書類【書類番号】         | 備考  |
|--------------------|---|
| 志願票(提出用)【①】        | Web エントリー完了後に印刷したものを提出してください。   |
| 志望理由書【②】           | 本学所定の用紙   |
| 出身大学等の成績証明書【③】     | <p><b>成績証明書は原本を提出してください。</b>原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。</p> <p>○現在在学中の場合は、出願時点で最新の成績証明書(原本)を提出してください。</p> <p>○出身大学に編・転入学した場合は、それ以前の大学等の成績証明書(原本)も併せて提出してください。</p> <p>○在籍期間中に留学し単位認定が済んでいるものの在籍大学の成績証明書に記載がない場合、または留学後の単位認定が済んでいない場合は、留学先の大学等の成績証明書(原本)を、併せて提出してください。</p> <p>○在籍期間中にDD(デュアル・ディグリー / ダブル・ディグリー)プログラム等に参加したが、在籍大学の成績証明書に記載がない場合、または一括での単位認定となっている場合は、DD派遣先の大学等の成績証明書(原本)を、併せて提出してください。</p> <p>注1 証明書が複数ページに渡る場合には、すべてのページに学校印又は発行責任者の署名が必要です。</p> <p>注2 在籍期間中に科目履修を行わなかった場合や、留学等により成績証明書に空白の期間がある場合は、志願者自身で当該期間の理由書(書式自由)を作成し、併せて提出してください。(学校印等は不要)</p> |
| 出身大学等の卒業(見込)証明書【④】 | <p>出願書類③に、卒業(見込)であることが記載されている場合は、提出不要です。</p> <p><b>卒業(見込)証明書は原本を提出してください。</b>原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。</p> <p>注 大学改革支援・学位授与機構(旧大学評価・学位授与機構)により学士の学位を授与された出願者は、卒業証明書に代えて学位記の写しまたは学位授与証明書を提出してください。</p>  |



|   |  |
|---|--|
| 研究計画書【5】  | <p>原本1部とその写し4部を提出してください。<br/> (A4用紙4ページ以内・横書・日本語もしくは英語)<br/> 次の(1)～(4)の項目について記述してください。ただし(4)については、自分の研究計画の内容に合わせて、適宜、取捨選択を行ってください。</p> <p>(1)研究課題名<br/> (2)氏名<br/> (3)キーワード(注 研究計画の内容を理解するために重要な語句を3つ～5つ程度)<br/> (4)本文</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>その研究を行うことの当該分野における意義、その研究が必要とされる社会的な理由、その研究の独創性・独自性</li> <li>当該領域の先行研究の現状・問題点・未解決の課題、それら先行研究の現状・問題点・未解決の課題とその研究の関連など</li> <li>その研究が用いる理論、フレームワーク、手法などについての説明</li> <li>どのような現象を対象として研究を進めるか、どのようなデータをどのような方法で集めるか、対象となる現象に対してどのように分析を進めるか、集めたデータに対してどのように分析を進めるか</li> <li>その研究によりどのような成果が期待されるか</li> <li>参考文献(APA方式、もしくはその言語/領域で標準的な書式を統一して用いること)</li> </ul> <p>注 本文を章・節に分ける場合は、各章・各節に簡潔な見出しをつけること。</p> |
| 業績報告書【8】  | <p>出願資格(2)にある在職期間における英語教育に係る業績の概要1,000字程度、原本1部とその写し4部<br/> パソコン等でA4用紙(横書き40字×40行)を使用して日本語もしくは英語で作成してください。</p>  |
| 業績資料【9】   | <p>業績報告書で言及した個々の業績の資料(原本)を各1部提出してください。業績とは、英語教育に関する書籍・論文・報告書・実践記録・雑誌記事・教科書・指導書・副読本、およびオリジナル教材・教案等です。形式は紙媒体・電子媒体ともに可とします。</p>   |
| 教育・研究業績がある場合には、抜刷またはその写し【10】 ★該当者のみ                 | <p>各5部<br/> 印刷出力が難しい場合は、電子媒体そのものでも可</p>  |
| 在職証明書【13】   | <p>出願資格(1)がわかるもの</p>   |
| 在留カードまたはパスポートの写し【16】<br>★日本国以外の国籍を有する者のみ(特別永住者を除く。) | <p>在留カードの場合は両面をコピーしてください。<br/> パスポートの場合は氏名、生年月日、写真、有効期限、在留資格および最新の在留期間が記載されている部分をコピーしてください。<br/> 最近3カ月以内に撮影されたものを志願票(提出用)と志望理由書にそれぞれ貼付してください。なお、修整・加工したものは不可。<br/> (志願票に貼付された写真は、入学後交付する「学生証」に使用します。)</p>  |
| 写真 2枚   |  |

### 3 選考方法

書類審査および口頭試問を総合して合否を判定します。

なお、本入学試験受験者について、現職教員1年制コースでの修学が不適合と判断した場合、修業年限2年以上とする通常の課程としての合否を判定します。

### 4 試験時間

| 筆記試験  | 口頭試問                  |
|-------|-----------------------|
| 行いません | 口頭試問の開始時刻は受験票にて通知します。 |

注 口頭試問実施時間の希望の申し出には一切応じません。

### 5 試験科目および配点

| 筆記試験  | 口頭試問(200点)  |
|-------|---|
| 行いません | <p>次のような点について試問を行います。</p> <p>(1)専門領域に関する予備知識〈用語集の内容を含む〉<br/> (2)研究に必要な言語の口頭運用能力<br/> (3)研究計画について<br/> (4)英語教育における業績について<br/> (5)その他関連する事項(教育経験など)</p> |

注 ※印の演習担当教員を希望する場合は、事前に大学院入試グループへ相談してください。  
**演習担当教員は変更することがあります。**  
**なお、変更が生じた場合は、本大学院入試情報サイトでお知らせしますので、出願前にご確認ください。**  
[https://www.kansai-u.ac.jp/Gr\\_sch/](https://www.kansai-u.ac.jp/Gr_sch/)  
 演習担当教員は、出願時の希望を考慮のうえ、研究科が決定します。 (2024年4月現在)

2024年度 外国語教育学研究科演習担当教員（指導教員）一覧（博士課程前期課程）＜予定＞

| 研究対象言語 | 領域              | 教員名         | 教員コード   | 指導が可能な分野  |   |
|--------|-----------------|-------------|---------|---|---|
| 英語     | 外国語教育学領域        | 池田 真生子      | 60972   | 英語教育(学習方略、自己調整学習、小学校英語、教員研修)  |   |
|        |                 | 今井 裕之       | 72822   | 英語教育学(英語授業研究、スピーキング評価研究、英語教師教育研究)   |   |
|        |                 | 新谷 奈津子      | 76406   | 第二言語習得、ライティング指導法、タスク中心教授法、文法指導、第二言語語用論、学習者の個人差と第二言語習得                                   |   |
|        |                 | 竹内 理 ※      | 95702   | 英語教育学(学習方略、動機づけ、自己効力感、不安などの学習者要因、教員養成)、自律学習・自己調整学習、教育メディア研究(遠隔学習、映像利用、教材作製)、小学校英語、テスト研究 |   |
|        |                 | 名部井 敏代      | 62952   | 英語教育学、第二言語習得(教室内インタラクション、フィードバックの効果、学習過程の学習者意識)   |   |
|        |                 | サイモン・ハンフリーズ | 74044   | 外国語教育・応用言語学(教授法やカリキュラム・イノベーション、第二言語使用に関わる情意要因)  |   |
|        |                 | 水本 篤        | 69617   | コーパス研究、語彙研究、言語テスト研究、学習方略、研究方法論  |   |
|        |                 | 大和 知史       | 78394   | 英語教育学(英語発音指導/プロソディ)   |   |
|        | 異文化コミュニケーション学領域 | アンドリュー・パーク  | 71613   | 言語と文化、日英対照言語学(語用論、社会言語学、談話分析)   |   |
|        |                 | サイモン・ハンフリーズ | 74044   | 異文化コミュニケーション(海外留学中の外国語使用に関わる情意要因)   |   |
|        |                 | 榎本 智子       | 75392   | コミュニケーション学、異文化間コミュニケーション  |   |
|        |                 | 守崎 誠一       | 71887   | 異文化コミュニケーション学(コミュニケーション行動に与える文化の影響、異文化不適応・適応、文化的価値観、異文化間コミュニケーション能力)                    |   |
|        | 通訳翻訳学領域 注1)     | 阪本 章子       | 77969   | 翻訳テクノロジーの社会的考察、翻訳プロセス分析、翻訳理論にもとづく翻訳テキスト分析(字幕翻訳を含む)、翻訳者教育                                |   |
|        |                 | 高橋 絹子 ※     | 77318   | 通訳翻訳学(通訳研究・通訳翻訳と社会・通訳教育・通訳と音声)  |   |
| 日本語    | 外国語教育学領域        | 阿南 順子       | 75959   | 日本文化論、演劇・パフォーマンス学、ジェンダー・セクシュアリティ論   |   |
|        |                 | アンドリュー・パーク  | 71613   | 日本語の語用論、社会言語学、談話分析  |   |
|        |                 | 嶋津 百代       | 69771   | 日本語教育学、談話分析(ナラティブ)  |   |
|        |                 | 高梨 信乃 ※     | 75391   | 日本語教育学、日本語学(現代日本語文法)  |   |
|        | 異文化コミュニケーション学領域 | 阿南 順子       | 75959   | 日本文化論、演劇・パフォーマンス学、ジェンダー・セクシュアリティ論   |   |
|        |                 | アンドリュー・パーク  | 71613   | 言語と文化、日英対照言語学(語用論、社会言語学、談話分析)   |   |
|        |                 | 榎本 智子       | 75392   | コミュニケーション学、異文化間コミュニケーション  |   |
|        |                 | 守崎 誠一       | 71887   | 異文化コミュニケーション学(コミュニケーション行動に与える文化の影響、異文化不適応・適応、文化的価値観、異文化間コミュニケーション能力)                    |   |
|        | 通訳翻訳学領域 注1)     | 阪本 章子       | 77969   | 翻訳テクノロジーの社会的考察、翻訳プロセス分析、翻訳理論にもとづく翻訳テキスト分析(字幕翻訳を含む)、翻訳者教育                                |   |
|        |                 | 高橋 絹子 ※     | 77318   | 通訳翻訳学(通訳研究・通訳翻訳と社会・通訳教育・通訳と音声)  |   |
|        | 中国語             | 外国語教育学領域    | 玄 幸子 ※  | 88739   | 中国語学、中国語教育学、中国語の通時的研究   |
|        |                 |             | 小嶋 美由紀  | 71614   | 中国語学(現代中国語文法)   |
|        |                 |             | 山崎 直樹 ※ | 66638   | 中国語教育のためのインストラクショナル・デザイン、日本語話者の中国語学習者による中間言語の形成、中国語教育のための語用論、中国語教育のための談話言語学 |
|        | 朝鮮語             | 外国語教育学領域    | 高 明均 ※  | 65667   | 朝鮮語学、語彙意味論  |
| 松岡 雄太  |                 |             | 76407   | 朝鮮語学(記述言語学・社会言語学)、朝鮮語教育学(対照言語学)   |   |
| ドイツ語   | 外国語教育学領域        | 高橋 秀彰       | 63299   | ドイツ語学、ドイツ語教育学   |   |
|        | 異文化コミュニケーション学領域 | 高橋 秀彰       | 63299   | ドイツ語圏の社会言語学(言語政策、移民の言語、態度、アイデンティティなど)   |   |

注1)「通訳翻訳学領域」で主に扱う言語のペアは「英←→日」です。研究対象言語は、口頭試問において決定します。これについて質問がある場合は、事前に指導を希望する教員に問い合わせてください。

注2) ※印の演習担当教員を希望する場合は、必ず、事前に大学院入試グループへ連絡してください。

## リモート履修制度について〔博士課程前期課程対象〕

外国語教育学研究科では、大学院入学者の多様なニーズに対応し、教育研究の機会を拡充するため、博士課程前期課程の外国語教育学領域（研究対象言語は英語のみ）と通訳翻訳学領域において、「リモート履修制度」を設けています。

仕事の都合や遠隔地に居住しているなどの理由により通学が困難である場合でも、インターネットを通じた履修によって、博士課程前期課程を修了することが可能です。

また、長期履修学生制度を利用することで、通常の2年コースだけでなく、3年コースを選択することもできます。ただし、アストンDDプログラムおよび日本語教育専門家養成講座では、対面での実習を含む授業があるため、リモート履修制度を利用して修了することができません。

リモート履修制度を利用する学生は、インターネットを利用したアプリケーションを通して、自宅や職場から授業に参加します。授業の性質上、リモートでの履修が認められない一部授業を除いて、ほとんどの授業をリモートで履修することが可能です。修了時の最終試験（口頭試問）についても、リモートで受けることができます。

リモート履修制度利用希望者に特化した入学試験は行わず、既存の入試種別（対面）において選考します。リモート履修制度のための募集人員は設定していません。

なお、リモート履修制度の利用は日本在住者に限ります。また、出願に際しては志望演習担当教員の承諾を得てください（「志望理由書」の「リモート履修制度に関する指導教員の署名」欄にサインがない場合、当該制度を利用することはできません。遠方に在住のため、教員の署名がもらえない場合は、事前に大学院入試グループへお問い合わせください）。

## 長期履修学生制度について

外国語教育学研究科では、大学院入学者の多様なニーズに対応し、教育研究の機会を拡充するため、従来の博士課程前期課程における2年コースの他に修業年限を3年とし、授業科目を計画的に履修する「3年コース」を実施しています。この制度の特徴は下記のとおりです。ただし、「一般入学試験（アストンDDプログラム）」による入学者は、プログラムの性質上、「2年コース」しか選択できません。

### (1) 履修制限単位

本制度により入学する者には、履修制限単位数を変更します。

| コース   | 1年次 | 2年次 | 3年次 |
|-------|-----|-----|-----|
| 2年コース | 30  | 30  | —   |
| 3年コース | 20  | 20  | 20  |

### (2) 3年コースにおける授業科目の配当年次

|           |   |
|-----------|---|
| 外国語教育学研究科 | 指導教員の担当する科目および前期課程演習 1a・1b は1年次配当、前期課程演習 2a・2b は3年次配当となります。 |
|-----------|---|

### (3) 在学期間の途中変更

2年次に進む段階で、各研究科において定められた次の条件を満たす場合は、願い出により、3年コースから2年コースへ変更することができます。その場合、2年次の履修制限単位数は30単位とします。

なお、対象者には1年次の秋学期にインフォメーションシステムにてお知らせします。

ただし、2年コースから3年コースへの変更はできません。

|           |                                  |
|-----------|----------------------------------|
| 外国語教育学研究科 | 1年次終了時に修士論文の提出要件である20単位を修得していること |
|-----------|----------------------------------|

### (4) 在学年限

在学年限は2年コース、3年コースとも4年です。

### (5) 修了要件

修了要件は2年コース、3年コースともに同じです。3年コースでは、2年コースと同じ修了要件を3年かけて履修します。詳細は入学時に配付される「大学院要覧」を参照してください。

### (6) 学費

学費については、55～56ページの「8 2024年度 学費・諸費」を参照してください。

なお、在学期間を途中で変更する場合は、3年次に納入する授業料を合わせて、2年次に納入することが必要となります。（正確な納入金額については、手続き時にご確認ください。）

長期履修学生制度により3年コースを希望する場合は、Webエントリーの際に「長期履修学生制度」欄で「3年コース」を選択してください。どちらのコースを選択しても合否判定には関係ありません。

なお、合格後に選択したコースの変更を希望する場合は、春学期入学：2024年1月12日（金）までに、大学院入試グループまでその旨をご連絡ください。

また、2月募集の合格者は、入学前にコース変更を申し出ることはできませんのでご注意ください。

## 外国語教育学研究科（博士課程後期課程）

### 募集研究科・専攻および入学定員

| 研究科       | 専攻       | 入学定員 |
|-----------|----------|------|
| 外国語教育学研究科 | 外国語教育学専攻 | 8名   |

注 入学学期および入試種別ごとの募集人員は設定していません。

## D 一般入学試験（春学期入学：10月募集・12月募集・2月募集/秋学期入学：7月募集）

### 1 出願資格

次の(1)～(7)のいずれかの条件を満たす者

（本研究科入学までに、(1)～(5)のいずれかの条件を満たす見込みの者を含む）

- (1) 修士の学位または専門職学位を有する者
- (2) 外国において修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法第一条第二項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (6) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）
- (7) 本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力を有すると認められた者で、本研究科入学までに24歳に達する者

#### 【重要】個別の入学資格審査に関する注意事項

##### 1. 対象者

出願資格(6)または(7)に該当する志願者

##### 2. 手続方法・申請期日

1ページの「I 出願前の確認」を参照のうえ、手続きをしてください。

#### 【重要】

本研究科への出願を考える者は、出願書類提出に先立ち、進学相談会への参加を強く推奨します。

### 2 出願書類

入学検定料35,000円を納入後、次の書類を一括して提出してください。

提出にあたっては、巻末の「出願書類に関する注意事項」をあらかじめ熟読のうえ間違いのないように提出してください。

また、「出願書類一覧（チェックリスト）」も出願書類と併せて提出すること。

| 出願書類【書類番号】     | 備考  |
|----------------|---|
| 全ての志願者が提出する書類  |   |
| 志願票（提出用）【①】    | Webエントリー完了後に印刷したものを提出してください。  |
| 志望理由書【②】       | 本学所定の用紙   |
| 出身大学院の成績証明書【③】 | <p>成績証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。</p> <p>○現在在学中の場合は、出願時点で最新の成績証明書（原本）を提出してください。</p> <p>○在籍期間中に留学し単位認定が済んでいるものの在籍大学院の成績証明書に記載がない場合、または留学後の単位認定が済んでいない場合は、留学先の大学院等の成績証明書（原本）を、併せて提出してください。</p> <p>○在籍期間中にDD（デュアル・ディグリー / ダブル・ディグリー）プログラム等に参加したが、在籍大学院の成績証明書に記載がない場合、または一括での単位認定となっている場合は、DD派遣先の大学院等の成績証明書（原本）を、併せて提出してください。</p> |

|  |  |
|--|--|
|  | <p>注1 証明書が複数ページに渡る場合には、すべてのページに学校印又は発行責任者の署名が必要です。</p> <p>注2 在籍期間中に科目履修を行わなかった場合や、留学等により成績証明書に空白の期間がある場合は、志願者自身で当該期間の理由書（書式自由）を作成し、併せて提出してください。（学校印等は不要）</p>   |
| 出身大学院の修了（見込）証明書【④】                                     | <p>出願書類③に、修了（見込）であることが記載されている場合は、提出不要です。</p> <p><b>修了（見込）証明書は原本を提出してください。</b>原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。</p>  |
| 研究計画書【⑤】   | <p>原本1部とその写し4部を提出してください。</p> <p>（A4用紙4ページ以内・横書・日本語もしくは研究対象言語）</p> <p>次の(1)～(4)の項目について記述してください。ただし(4)については、自分の研究計画の内容に合わせて、適宜、取捨選択を行ってください。</p> <p>(1)研究課題名<br/>(2)氏名<br/>(3)キーワード（注 研究計画の内容を理解するために重要な語句を3つ～5つ程度）<br/>(4)本文</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・その研究を行うことの当該分野における意義、その研究が必要とされる社会的な理由、その研究の独創性・独自性</li> <li>・当該領域の先行研究の現状・問題点・未解決の課題、それら先行研究の現状・問題点・未解決の課題とその研究の関連など</li> <li>・その研究が用いる理論、フレームワーク、手法などについての説明</li> <li>・どのような現象を対象として研究を進めるか、どのようなデータをどのような方法で集めるか、対象となる現象に対してどのように分析を進めるか</li> <li>・その研究によりどのような成果が期待されるか</li> <li>・参考文献（APA方式、もしくはその言語／領域で標準的な書式を統一して用いること）</li> </ul> <p>注 本文を章・節に分ける場合は、各章・各節に簡潔な見出しをつけること。</p> |
| 外国語筆記試験免除の条件を満たす場合は、そのことを証明する書類の原本およびその写し【⑪】<br>★該当者のみ | <p>外国語筆記試験免除の条件（後掲の「5 試験科目および配点」注【外国語試験の免除条件（各言語）】参照）を満たす場合のみ提出してください。</p> <p>外国語資格試験の証明書の場合は原本とその写し1部を提出してください。提出された原本は試験当日に返却します。</p>  |
| 在留カードまたはパスポートの写し【⑫】<br>★日本国以外の国籍を有する者のみ（特別永住者を除く。）     | <p>在留カードの場合は両面をコピーしてください。</p> <p>パスポートの場合は氏名、生年月日、写真、有効期限、在留資格および最新の在留期間が記載されている部分をコピーしてください。</p>  |
| 写真 2枚  | <p>最近3か月以内に撮影されたものを志願票（提出用）と志望理由書にそれぞれ貼付してください。なお、修整・加工したものは不可。（志願票に貼付された写真は、入学後交付する「学生証」に使用します。）</p>  |
| <b>出願資格(1)～(5)で出願する者のうち、下記①～③以外の者</b>                  |  |
| 修士論文の概要【⑥】   | <p>2,000字程度 原本1部とその写し4部</p> <p>パソコン等でA4用紙（横書き40字×40行）を使用して、日本語もしくは研究対象言語で作成してください。</p>   |
| 修士論文の写し【⑦】   | 5部   |
| <b>出願資格(1)～(5)で出願する者のうち</b>                            |  |
| <b>① 〔春学期入学〕2024年3月および〔秋学期入学〕2024年9月に修士の学位を得る見込みの者</b> |  |
| 修士論文の概要【⑥】※  | <p>2,000字程度 原本1部とその写し4部</p> <p>パソコン等でA4用紙（横書き40字×40行）を使用して、日本語もしくは研究対象言語で作成してください。</p>   |
| 修士論文計画書【⑦】※  | <p>2,000字程度 原本1部とその写し4部</p> <p>パソコン等でA4用紙（横書き40字×40行）を使用して、日本語もしくは研究対象言語で作成してください。</p>   |
| <b>出願資格(1)～(5)で出願する者のうち</b>                            |  |
| <b>② 修士論文を提出せずに修士の学位を得た者</b>                           |  |
| 修士課程における研究概要【⑦】  | <p>2,000字程度 原本1部とその写し4部</p> <p>パソコン等でA4用紙（横書き40字×40行）を使用して、日本語もしくは研究対象言語で作成してください。</p>   |

| 出願資格(1)～(5)で出願する者のうち<br>③ 修士の学位を取得してから時間が経過しており、その後の研究成果がある者 |  |
|--|--|
| 最新の研究論文の概要【⑥】  | 2,000字程度 原本1部とその写し4部<br>パソコン等でA4用紙(横書き40字×40行)を使用して、日本語もしくは研究対象言語で作成してください。                    |
| 最新の研究論文の写し【⑦】  | 5部   |
| 出願資格(1)～(5)で出願する者のうち<br>④ 専門職学位を有しており、修士論文を作成していない者          |  |
| 公刊された学術論文1編の抜刷またはその写し【⑦】                                     | 5部<br>注 「公刊された学術論文1編の抜刷またはその写し」がない場合は、それにかわる研究業績(学会発表の予稿または要旨、研究報告書の抜刷またはその写し等)を提出してください。      |
| 出願資格(6)または(7)で出願する者  |  |
| 業績報告書【⑧】   | 研究業績内容または業務内容の概要2,000字程度<br>原本1部とその写し4部<br>パソコン等でA4用紙(横書き40字×40行)を使用して、日本語もしくは研究対象言語で作成してください。 |
| 研究業績の抜刷またはその写し【⑩】  | 各5部<br>学術論文、学会発表、研究報告書等の抜刷またはその写し  |

※ 2024年3月修了見込みの者が2月募集(春学期入学)に出願する場合、「修士論文の概要【⑥】」および「修士論文の写し【⑦】」に限り、2024年1月16日(火)まで提出を認めます。それ以外の出願書類は、必ず出願書類提出期間に提出してください。ただし、2024年1月16日(火)時点においても修士論文の概要および修士論文の写しを提出できない場合は、出願書類提出期間に「修士論文の概要【⑥】」と「修士論文計画書【⑦】」を提出してください。

### 3 選考方法

書類選考、筆記試験および口頭試問の結果を総合して可否を判定します。

なお、筆記試験免除者については、書類選考および口頭試問の結果を総合して可否を判定します。

### 4 試験時間

| 筆記試験             | 口頭試問    |
|------------------|---------|
| 外国語              | 筆記試験終了後 |
| 10:00～11:30(90分) |         |

注 口頭試問の開始時刻および試験場等の詳細は、試験当日に指示します。

なお、「筆記試験」免除者については、受験票にて口頭試問開始時刻を通知します。

### 5 試験科目および配点

筆記試験「外国語」は、志望する「研究対象言語」となります。ただし「研究対象言語」が母語にあたる場合は、研究対象言語以外の言語を、下表から1つ選択してください。

| 筆記試験(100点) | 口頭試問(200点)   |
|------------|--|
| 外国語        | 次のような点について試問を行います。<br>(1)専門分野に関する予備知識<br>(2)研究に必要な言語の口頭運用能力<br>(3)修士論文等の研究内容<br>(4)出願時に提出した研究計画書について<br>(5)その他関連する事項 |
| 受験外国語      |  |
| 免除         |  |
| 英語         |  |
| 日本語        |  |
| 中国語        |  |
| ドイツ語       |  |
| 朝鮮語        |  |

注 次の「外国語試験の免除条件(各言語)」を満たす場合は、筆記試験を免除とし、口頭試問のみを行います。



## 【外国語試験の免除条件（各言語）】

筆記試験で指定された言語について、以下の条件を満たしている場合は、外国語の筆記試験を免除します。ただし「研究対象言語」が母語にあたる場合は、以下の言語のうち、母語以外の言語が免除対象となります。

| 外国語   | 免除の条件  |
|-------|--|
| 英語    | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 実用英語検定 1 級以上</li><li>・ IELTS Overall 6.5以上（アカデミックモジュール）スコア</li><li>・ TOEFL iBT® テスト（My Best™スコアを含む）83 点以上のスコア</li><li>・ TOEIC® L&amp;R テスト（TOEIC® L&amp;R テスト（IP）を含む）780 点以上のスコア</li></ul> ※ TOEIC® L&R テストのデジタル公式認定証は認めません。 |
| 日本語   | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 免除条件なし</li></ul>   |
| 中国語   | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 中国語検定 準 1 級以上</li><li>・ 新 HSK 6 級（180 点以上かつ作文 60 点以上）</li></ul>  |
| ドイツ語  | <ul style="list-style-type: none"><li>・ ドイツ語技能検定試験 準 1 級以上</li><li>・ ゲーテ・ドイツ語検定試験 B2 以上</li></ul>  |
| 朝鮮語   | <ul style="list-style-type: none"><li>・ ハングル能力検定試験 2 級以上</li><li>・ 韓国語能力試験 5 級以上</li></ul>   |
| フランス語 | <ul style="list-style-type: none"><li>・ 実用フランス語技能検定試験 準 1 級以上</li><li>・ DELF B2 以上</li><li>・ TCF(Test de Connaissance du Français) レベル 4 以上</li></ul>  |
| スペイン語 | <ul style="list-style-type: none"><li>・ スペイン語技能検定 1 級以上</li><li>・ DELE B2 以上</li></ul>   |
| ロシア語  | <ul style="list-style-type: none"><li>・ ロシア語検定試験（ТРКИ）第 2 レベル以上</li></ul>  |

注1 上記に示すテストの公式スコアに有効期限があるものについては、各日程のWebエントリー開始日が有効期間内であることが必要です。

注2 上記以外のテストまたは上記以外の言語の高度な資格で出願する者は、筆記試験免除の審査が必要ですので、事前に問い合わせのうえ、次の期日までに個別の入学資格審査申請書および出願書類（志願票を除くすべての書類）を大学院入試グループへ提出してください。

### 【春学期入学】

10月募集：2023年7月13日（木）

12月募集：2023年10月19日（木）

2月募集：2023年12月7日（木）

### 【秋学期入学】

7月募集：2024年4月25日（木）

## D 社会人入学試験（春学期入学：10月募集・12月募集・2月募集/秋学期入学：7月募集）

### 1 出願資格

次の(1)および(2)に該当する者

- (1) 次のア～キのいずれかに該当する者（本研究科入学までに、ア～オのいずれかの条件を満たす見込みの者を含む）
- ア 修士の学位または専門職学位を有する者
  - イ 外国において修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
  - ウ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
  - エ 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
  - オ 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法第一条第二項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
  - カ 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）
  - キ 本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力を有すると認められた者
- (2) 次のアまたはイのいずれかに該当する者
- ア 出願時において、日本国内外を問わず、同一の企業、官公庁、教育・研究機関等において引き続き1年以上勤務している者またはその経験を有する者
  - イ 本大学院において、個別の入学資格審査により、アに準ずる職歴を有すると認められた者

#### 【重要】個別の入学資格審査に関する注意事項

1. 対象者  
出願資格(1)-カ、(1)-キまたは(2)-イに該当する志願者
2. 手続方法・申請期日  
1 ページの「I 出願前の確認」を参照のうえ、手続きをしてください。

#### 【重要】

本研究科への出願を考える者は、出願書類提出に先立ち、進学相談会への参加を強く推奨します。

### 2 出願書類

入学検定料 35,000 円を納入後、次の書類を一括して提出してください。

提出にあたっては、巻末の「出願書類に関する注意事項」をあらかじめ熟読のうえ間違いのないように提出してください。

また、「出願書類一覧（チェックリスト）」も出願書類と併せて提出すること。

| 出願書類【書類番号】     | 備考  |
|----------------|---|
| 全ての志願者が提出する書類  |   |
| 志願票（提出用）【①】    | Web エントリー完了後に印刷したものを提出してください。   |
| 志望理由書【②】       | 本学所定の用紙   |
| 出身大学院の成績証明書【③】 | 成績証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。<br>○現在在学中の場合は、出願時点で最新の成績証明書（原本）を提出してください。<br>○在籍期間中に留学し単位認定が済んでいるものの在籍大学院の成績証明書に記載がない場合、または留学後の単位認定が済んでいない場合は、留学先の大学院等の成績証明書（原本）を、併せて提出してください。 |

|  |   |
|--|---|
|  | <p>○在籍期間中にDD（デュアル・ディグリー / ダブル・ディグリー）プログラム等に参加したが、在籍大学院の成績証明書に記載がない場合、または一括での単位認定となっている場合は、DD派遣先の大学院等の成績証明書（原本）を、併せて提出してください。</p> <p>注1 証明書が複数ページに渡る場合には、すべてのページに学校印又は発行責任者の署名が必要です。</p> <p>注2 在籍期間中に科目履修を行わなかった場合や、留学等により成績証明書に空白の期間がある場合は、志願者自身で当該期間の理由書（書式自由）を作成し、併せて提出してください。（学校印等は不要）</p>   |
| 出身大学院の修了（見込）証明書【④】                                     | <p>出願書類③に、修了（見込）であることが記載されている場合は、提出不要です。</p> <p><b>修了（見込）証明書は原本を提出してください。</b>原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。</p>   |
| 研究計画書【⑤】   | <p>原本1部とその写し4部を提出してください。</p> <p>（A4用紙4ページ以内・横書・日本語もしくは研究対象言語）</p> <p>次の(1)～(4)の項目について記述してください。ただし(4)については、自分の研究計画の内容に合わせて、適宜、取捨選択を行ってください。</p> <p>(1)研究課題名<br/>(2)氏名<br/>(3)キーワード（注 研究計画の内容を理解するために重要な語句を3つ～5つ程度）<br/>(4)本文</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・その研究を行うことの当該分野における意義、その研究が必要とされる社会的な理由、その研究の独創性・独自性</li> <li>・当該領域の先行研究の現状・問題点・未解決の課題、それら先行研究の現状・問題点・未解決の課題とその研究の関連など</li> <li>・その研究が用いる理論、フレームワーク、手法などについての説明</li> <li>・どのような現象を対象として研究を進めるか、どのようなデータをどのような方法で集めるか、対象となる現象に対してどのように分析を進めるか、集めたデータに対してどのように分析を進めるか</li> <li>・その研究によりどのような成果が期待されるか</li> <li>・参考文献（APA方式、もしくはその言語／領域で標準的な書式を統一して用いること）</li> </ul> <p>注 本文を章・節に分ける場合は、各章・各節に簡潔な見出しをつけること。</p> |
| 外国語筆記試験免除の条件を満たす場合は、そのことを証明する書類の原本およびその写し【⑩】<br>★該当者のみ | <p>外国語筆記試験免除の条件（後掲の「5 試験科目および配点」注【外国語試験の免除条件（各言語）】参照）を満たす場合のみ提出してください。</p> <p>「研究対象言語に関する教育経験」の条件により免除を希望する者は、職歴、在職期間および担当科目がわかる証明書（在職証明書等）を提出してください。</p> <p>外国語資格試験の証明書の場合は原本とその写し1部を提出してください。提出された原本は試験当日に返却します。</p>  |
| 在留カードまたはパスポートの写し【⑪】<br>★日本国以外の国籍を有する者のみ（特別永住者を除く。）     | <p>在留カードの場合は両面をコピーしてください。</p> <p>パスポートの場合は氏名、生年月日、写真、有効期限、在留資格および最新の在留期間が記載されている部分をコピーしてください。</p>   |
| 写真 2枚  | <p>最近3カ月以内に撮影されたものを志願票（提出用）と志望理由書にそれぞれ貼付してください。なお、修整・加工したものは不可。（志願票に貼付された写真は、入学後交付する「学生証」に使用します。）</p>   |
| <b>出願資格(1)-ア～オで出願する者のうち、下記①～③以外の者</b>                  |   |
| 修士論文の概要【⑥】   | <p>2,000字程度 原本1部とその写し4部</p> <p>パソコン等でA4用紙（横書き40字×40行）を使用して、日本語もしくは研究対象言語で作成してください。</p>  |
| 修士論文の写し【⑦】   | <p>5部</p>   |

| 出願資格(1)-ア～オで出願する者のうち                              |  |
|---|--|
| ① [春学期入学] 2024年3月および[秋学期入学] 2024年9月に修士の学位を得る見込みの者 |  |
| 修士論文の概要【⑥】※                                       | 2,000字程度 原本1部とその写し4部<br>パソコン等でA4用紙(横書き40字×40行)を使用して、日本語もしくは研究対象言語で作成してください。                    |
| 修士論文計画書【⑦】※                                       | 2,000字程度 原本1部とその写し4部<br>パソコン等でA4用紙(横書き40字×40行)を使用して、日本語もしくは研究対象言語で作成してください。                    |
| 出願資格(1)-ア～オで出願する者のうち                              |  |
| ② 修士論文を提出せずに修士の学位を得た者                             |  |
| 修士課程における研究概要【⑦】                                   | 2,000字程度 原本1部とその写し4部<br>パソコン等でA4用紙(横書き40字×40行)を使用して、日本語もしくは研究対象言語で作成してください。                    |
| 出願資格(1)-ア～オで出願する者のうち                              |  |
| ③ 修士の学位を取得してから時間が経過しており、その後の研究成果がある者              |  |
| 最新の研究論文の概要【⑥】                                     | 2,000字程度 原本1部とその写し4部<br>パソコン等でA4用紙(横書き40字×40行)を使用して、日本語もしくは研究対象言語で作成してください。                    |
| 最新の研究論文の写し【⑦】                                     | 5部   |
| 出願資格(1)-ア～オで出願する者のうち                              |  |
| ④ 専門職学位を有しており、修士論文を作成していない者                       |  |
| 公刊された学術論文1編の抜刷またはその写し【⑦】                          | 5部<br>注 「公刊された学術論文1編の抜刷またはその写し」がない場合は、それにかわる研究業績(学会発表の予稿または要旨、研究報告書の抜刷またはその写し等)を提出してください。      |
| 出願資格(1)-カまたは(1)-キで出願する者                           |  |
| 業績報告書【⑧】  | 研究業績内容または業務内容の概要2,000字程度<br>原本1部とその写し4部<br>パソコン等でA4用紙(横書き40字×40行)を使用して、日本語もしくは研究対象言語で作成してください。 |
| 研究業績の抜刷またはその写し【⑩】                                 | 各5部<br>学術論文、学会発表、研究報告書等の抜刷またはその写し  |

※ 2024年3月修了見込みの者が2月募集(春学期入学)に出願する場合、「修士論文の概要【⑥】」および「修士論文の写し【⑦】」に限り、2024年1月16日(火)まで提出を認めます。それ以外の出願書類は、必ず出願書類提出期間に提出してください。ただし、2024年1月16日(火)時点においても修士論文の概要および修士論文の写しを提出できない場合は、出願書類提出期間に「修士論文の概要【⑥】」と「修士論文計画書【⑦】」を提出してください。

### 3 選考方法

書類選考、筆記試験および口頭試問の結果を総合して合否を判定します。

なお、筆記試験免除者については、書類選考および口頭試問の結果を総合して合否を判定します。

### 4 試験時間

| 筆記試験             | 口頭試問    |
|------------------|---------|
| 外国語              | 筆記試験終了後 |
| 10:00～11:30(90分) |         |

注1 口頭試問実施時間の希望の申し出には一切応じません。

注2 口頭試問の開始時刻および試験場等の詳細は、試験当日に指示します。

なお、「筆記試験」免除者については、受験票にて口頭試問開始時間を通知します。

## 5 試験科目および配点

筆記試験「外国語」は、志望する「研究対象言語」となります。ただし「研究対象言語」が母語にあたる場合は、研究対象言語以外の言語を、下表から1つ選択してください。

| 筆記試験 (100点) | 口頭試問 (200点)   |
|-------------|---|
| 外国語         | 次のような点について試問を行います。<br>(1) 社会での経験について<br>(2) 専門分野に関する予備知識<br>(3) 研究に必要な言語の口頭運用能力<br>(4) 修士論文等の研究内容<br>(5) 出願時に提出した研究計画書について<br>(6) その他関連する事項 |
| 受験外国語       |   |
| 免除          |   |
| 英語          |   |
| 日本語         |   |
| 中国語         |   |
| ドイツ語        |   |
| 朝鮮語         |   |

注 次の「外国語試験の免除条件（各言語）」を満たす場合は、筆記試験を免除とし、口頭試問のみを行います。

### 【外国語試験の免除条件（各言語）】

以下の1または2のいずれかの条件を満たしている場合は、外国語の筆記試験を免除します。

#### 1 外国語資格試験

筆記試験で指定された言語について、以下の条件を満たしている場合。ただし「研究対象言語」が母語にあたる場合は、母語以外の言語における資格をもって免除とします。

| 外国語   | 免除の条件   |
|-------|---|
| 英語    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実用英語検定 1 級以上</li> <li>・ IELTS Overall 6.5以上（アカデミックモジュール）スコア</li> <li>・ TOEFL iBT® テスト（My Best™スコアを含む）83 点以上のスコア</li> <li>・ TOEIC® L&amp;R テスト（TOEIC® L&amp;R テスト（IP）を含む）780 点以上のスコア</li> </ul> ※ TOEIC® L&R テストのデジタル公式認定証は認めません。 |
| 日本語   | ・ 免除条件なし  |
| 中国語   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中国語検定 準 1 級以上</li> <li>・ 新 HSK 6 級（180 点以上かつ作文 60 点以上）</li> </ul>  |
| ドイツ語  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ドイツ語技能検定試験 準 1 級以上</li> <li>・ ゲーテ・ドイツ語検定試験 B2 以上</li> </ul>  |
| 朝鮮語   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ハングル能力検定試験 2 級以上</li> <li>・ 韓国語能力試験 5 級以上</li> </ul>   |
| フランス語 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実用フランス語技能検定試験 準 1 級以上</li> <li>・ DELF B2 以上</li> <li>・ TCF (Test de Connaissance du Français) レベル 4 以上</li> </ul>  |
| スペイン語 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ スペイン語技能検定 1 級以上</li> <li>・ DELE B2 以上</li> </ul>   |
| ロシア語  | ・ ロシア語検定試験（ТРКИ）第 2 レベル以上   |

## 2 研究対象言語に関する教育経験

各日程の Web エントリー開始日時点で、日本国内の小学校・中学校・高等学校・高等専門学校・専門学校・短大・大学・大学院等において、専任教員（専任に準ずる場合も含む）または常勤講師としての勤務歴（大学卒業後）が継続して2年以上ある者。かつ「研究対象言語」を担当科目としていること。なお、「研究対象言語」が母語であっても可とする。

| 提出書類                                |
|-------------------------------------|
| ①在職証明書または在職経験証明書                    |
| ②教員免許状（写し）<br>※お持ちの方は全てご提出ください。     |
| ③勤務校からの担当科目証明書<br>※提出可能な方は、ご提出ください。 |

- 注1 上記「2」の「②教員免許状（写し）」をお持ちでない場合も出願は可能ですが、その場合は、必ず「③勤務校からの担当科目証明書」を提出してください。
- 注2 上記「1」に示すテストの公式スコアに有効期限があるものについては、各日程の Web エントリー開始日が有効期間内であることが必要です。
- 注3 上記「1」に示す以外のテスト、または上記「1」に示す以外の言語の高度な資格、もしくは「2」に準ずる日本国内における職歴で出願する者は、筆記試験免除の審査が必要です。事前に問い合わせのうえ、次の期日までに個別の入学資格審査申請書および出願書類（志願票を除くすべての書類）を大学院入試グループへ提出してください。

### 【春学期入学】

10月募集：2023年7月13日（木）

12月募集：2023年10月19日（木）

2月募集：2023年12月7日（木）

### 【秋学期入学】

7月募集：2024年4月25日（木）

注 ※印の演習担当教員を希望する場合は、事前に大学院入試グループへ相談してください。  
**演習担当教員は変更することがあります。**  
**なお、変更が生じた場合は、本大学院入試情報サイトでお知らせしますので、出願前にご確認ください。**

<[https://www.kansai-u.ac.jp/Gr\\_sch/](https://www.kansai-u.ac.jp/Gr_sch/)>

演習担当教員は、出願時の希望を考慮のうえ、研究科が決定します。 (2024年4月現在)

## 2024年度 外国語教育学研究科演習担当教員（指導教員）一覧（博士課程後期課程）＜予定＞

| 研究対象言語 | 教員名            | 教員コード | 指導が可能な分野   |
|--------|----------------|-------|--|
| 英語     | 阪本 章子<br>注1)   | 77969 | 翻訳テクノロジーの社会的考察、翻訳プロセス分析、翻訳理論にもとづく翻訳テキスト分析(字幕翻訳を含む)、翻訳者教育                           |
|        | 新谷 奈津子         | 76406 | 第二言語習得、ライティング指導法、タスク中心教授法、文法指導、第二言語語用論、学習者の個人差と第二言語習得                              |
|        | 高橋 絹子 ※<br>注1) | 77318 | 通訳研究(通訳と社会・通訳教育・通訳と音声・通訳教育の英語教育への応用)   |
|        | 竹内 理           | 95702 | 英語教育学(学習方略、動機づけ、自己効力感、不安などの学習者要因、教員養成)、自律学習・自己調整学習、教育メディア研究(遠隔学習、映像利用)、小学校英語、テスト研究 |
|        | 名部井 敏代         | 62952 | 英語教育学、第二言語習得(教室内インタラクション、フィードバックの効果、学習過程の学習者意識)                                    |
|        | 水本 篤           | 69617 | コーパスの教育利用、コンピュータを利用した言語学習(CALL)、学習方略、言語テスト、ESP/EAP、語彙学習・指導、研究方法論                   |
|        | 守崎 誠一          | 71887 | 異文化間コミュニケーション学(コミュニケーション行動に与える文化の影響、異文化不適合・適合、異文化間コミュニケーション能力)                     |
| 日本語    | 阪本 章子<br>注1)   | 77969 | 翻訳テクノロジーの社会的考察、翻訳プロセス分析、翻訳理論にもとづく翻訳テキスト分析(字幕翻訳を含む)、翻訳者教育                           |
|        | 嶋津 百代          | 69771 | 日本語教育学、談話分析(ナラティブ)   |
|        | 高梨 信乃          | 75391 | 日本語教育学、日本語学(現代日本語文法)   |
|        | 高橋 絹子 ※<br>注1) | 77318 | 通訳研究(通訳と社会・通訳教育・通訳と音声・通訳教育の英語教育への応用)   |
|        | 守崎 誠一          | 71887 | 異文化間コミュニケーション学(コミュニケーション行動に与える文化の影響、異文化不適合・適合、異文化間コミュニケーション能力)                     |
| ドイツ語   | 高橋 秀彰          | 63299 | ドイツ語圏の社会言語学(言語政策、移民の言語、態度、アイデンティティーなど)、ドイツ語学、ドイツ語教育学                               |

注1) 主に扱う言語のペアは「英←→日」です。研究対象言語は、口頭試問において決定します。これについて質問がある場合は、事前に指導を希望する教員に問い合わせてください。

注2) ※印の演習担当教員を希望する場合は、必ず、事前に大学院入試グループへ連絡してください。

## リモート履修制度について〔博士課程後期課程対象〕

外国語教育学研究科では、大学院入学者の多様なニーズに対応し、教育研究の機会を拡充するため、博士課程後期課程において、「リモート履修制度」を設けています。

仕事の都合や遠隔地（海外を含む。）に居住しているなどの理由により通学が困難である場合でも、インターネットを通じた履修によって、博士課程後期課程を修了することが可能です。ただし、日本語教育専門家養成講座は、対面での実習を含む授業があるため、リモート履修制度を利用して修了することができません。

リモート履修制度を利用する学生は、インターネットを利用したアプリケーションを通して、自宅や職場から既存の授業に参加します。授業の性質上、リモートでの履修が認められない一部授業を除いて、ほとんどの授業をリモートで履修することが可能です。修了に必要な博士課程研究基礎力試験（QE）、聴聞会、最終試験（口頭試問）などについても、リモートで受けることができます。

リモート履修制度利用希望者に特化した入学試験は行わず、既存の入試種別において選考します。リモート履修制度のための募集人員は、設定していません。

なお、出願に際しては志望演習担当教員の承諾を得てください（「志望理由書」の「リモート履修制度に関する指導教員の署名」欄にサインがない場合、当該制度を利用することはできません。日本国外や遠方に在住のため、教員の署名がもらえない場合は、事前に大学院入試グループへお問い合わせください）。

また、海外在住で筆記試験（外国語）の免除者については、入学試験（口頭試問）をリモートで行います。